

めらめらと燃える炎
伝統の奇祭 タバンカ祭

9月14日 タバンカ祭(大宝八幡宮で)

つくばナンバー版



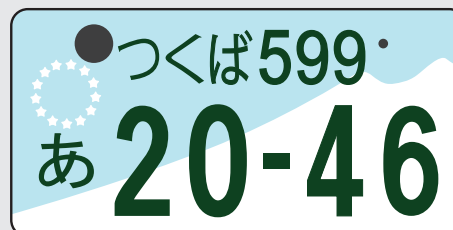
あなたの選んだデザインが、日本全国を走ります

図柄入りナンバープレート デザイン投票

デザイン候補

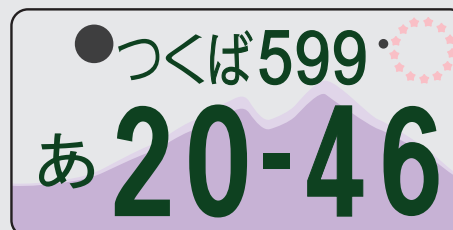
A案

爽やかな青空と筑波山をシンプルに表現しました。左側には、構成13自治体の連携を表す星の輪を配置しました



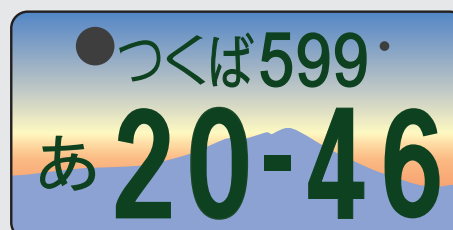
B案

万葉の時代から「紫峰」と語られる筑波山を、2つの稜線と構成13自治体の連携を表す星の輪で表現しました



C案

筑波山のベストビューの1つである、筑波山頂から太陽が昇る「ダイヤモンド筑波」を鮮やかなグラデーションで表現しました



※図柄入りナンバープレートを取り付ける場合、交付手数料のほかに寄付金のお支払いにより「フルカラー版」のナンバープレートに、寄付金のお支払いがない場合は「モノトーン版」のナンバープレートになります。

※図柄入りナンバープレートの視認性を考慮し、色合いやデザインの位置など、一部修正することがあります。

「つくばナンバー」の対象地域となる県南・県西13自治体では、地域の特色を生かし、地域振興や観光振興などを目的として、つくば地域をイメージできる「図柄入りナンバープレート」の導入に取り組み、デザイン候補3案を作成しました。

国へ提案できるデザインは1点のみ。構成13自治体で実施する投票結果を踏まえ、つくば地域図柄入りナンバープレートのデザインが決定します。対象車種は、普通乗用車と軽乗用車。平成30年10月頃の交付開始を目指しています。

市民の皆さまの投票をお待ちしています。

投票できる方

市内在住の方。投票は1人1回のみ。

投票方法

①インターネットによる投票

下妻市のホームページを経由して、「いばらき電子申請・届出サービス」のウェブページから電子申請で投票を受け付けます。次のURLまたはQRコードにアクセスして投票してください。

<http://www.city.shimotsuma.lg.jp/page/page001926.html>



②投票用紙による投票

市役所本庁舎(1階・総合案内)および千代川庁舎(1階・くらしの窓口課)に、投票用紙および投票箱を設置しています。投票用紙に必要な事項を記入し、投票箱へ投票してください。

投票期間

①インターネットによる投票

平成29年 10月17日(火)～11月15日(水)

②投票用紙による投票

平成29年 11月1日(水)～11月15日(水)

投票結果

市ホームページや広報紙などでお知らせします。

企画課 ☎43-2113 FAX 43-1960



おかもと なおひさ
岡本 直久氏

筑波大学 システム情報系
社会工学域 教授 博士(工学)
下妻市地域公共交通活性化
協議会 副会長

便利な公共交通のサービスを実現するために

バスや鉄道といった路線型の公共交通は、利用者の数が、サービスに大きく影響します。「もっと本数が多ければ…」という声をよく伺いますが、使う人が減れば本数も少なくなります。不便になって、また使う人が減るという悪循環に陥ります。これを断ち切るには乗る人の人数をなんとか、少しずつでも増やすことが必要なのです。運行できる本数も多くなり、もっと便利な手段にすることができそうです。

平成29年1月、下妻市に初めてのコミュニティバス「シモンちゃんバス」が生まれました。南北に関東鉄道常総線が走る下妻市には、東西方向の公共交通の軸が望まれていたのです。シモンちゃんバスは下妻市において公共交通を発展させるきっかけに過ぎません。より便利な公共交通のサービスを実現するためには、市民の皆さんが、バスを活用していただき、支えていただくことが一番大事なことだと思います。

賢く自動車や、バス、鉄道を使ってみる工夫からはじめてみてはいかがでしょうか。

年々利用者が増加中 関東鉄道「常総線」



常総線は市内を南北に縦断し、取手駅と下館駅を結んでいます。市内には宗道駅、下妻駅、大宝駅、騰波ノ江駅の4駅が設置されています。

下妻駅は快速列車が停車するため、つくばエクスプレス線に守谷駅で乗換えると秋葉原駅まで最短で69分。この利便性から都内への通勤・通学者や無料駐車場のパーク&ライド利用者もいて、利用者が増えています。

おトクなきっぷ① TX&常総ライン往復きっぷ

常総線とつくばエクスプレス線(北千住・秋葉原)を利用の方に大変便利な2日間有効の往復割引乗車券です。毎日利用可。

- ・運賃…秋葉原⇄騰波ノ江・大宝 3,080円、下妻・宗道 2,780円
北千住⇄騰波ノ江・大宝 2,920円、下妻・宗道 2,620円

おトクなきっぷ② 1日フリーきっぷ

常総線内ならば1日中どの駅でも乗り降りできる便利なきっぷです。

- ・ご利用日…土曜日・日曜日・祝日・11月13日・12月29日～1月3日
- ・運賃…[大人] 1,500円 [小人] 750円
※親子割引1,500円(おとな1名・こども2名まで)

パーク&ライド

常総線利用の方が無料で駐車できる駐車場を設置しています。利用の際には駐車場の番号を駅係員、駅員不在の駅では乗務員に申し出る必要があります。

- ①騰波ノ江駅10台 ②大宝駅12台 ③下妻駅106台 ④宗道駅7台



生活の足「路線バス」

市内の路線バスは下妻駅から高道祖地区を通過して、つくばセンターと土浦駅に向かう2路線を関東鉄道と関鉄パープルバスが運行しています。

特に、つくばセンター行きは筑波記念病院や筑波大学附属病院にも停車するほか、つくば市コミュニティバス「つくバス」に乗り換えれば、つくば市内各所へのアクセス性はさらに向上するため、便利な路線になっています。

平成29年9月のダイヤ改正で、下妻駅6:30発のつくばセンター行きはモーニングシャトル便が設定されました。この便は途中のバス停には停車しない終点までの直行便で、通常より早く到着できます。

シモンちゃんバスに乗って「しもつま砂沼フェスティバル」へ行こう

10月21日(土)・22日(日)に砂沼サンビーチで開催される「しもつま砂沼フェスティバル」でシモンちゃんバスのPR活動を行います。シモンちゃんバスでご来場の方には先着200名に景品をプレゼントするほか、75歳以上の高齢者のシモンちゃんバスの運賃が半額になる「高齢者運賃割引証」の臨時交付を行います。

※高齢者運賃割引証の交付には、健康保険証や運転免許証など公的機関が発行する年齢が確認できるものが必要となります。



みんなで支えよう 地域公共交通



下妻市内の主な公共交通には、「鉄道」と「路線バス」があります。
公共交通が必要なのは、いま利用している人だけではありません。
いまは公共交通を利用していない人でも、将来、クルマを運転しなくなったとき、
通勤、通学などで公共交通は私たちの生活に必要な移動手段となることができます。

問 企画課 ☎43-2113 FAX 43-1960

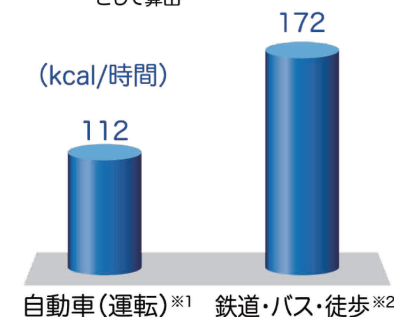
クルマ利用と「健康」

1時間クルマで移動する代わりに、鉄道・バス・徒歩を使えば、消費カロリーは1.5倍以上(172キロカロリー)になります。

(ごはんお茶碗1杯分で約200キロカロリーです)

60分間の移動に伴う消費カロリー(体重65kgの場合)

- ※1) 自動車を60分運転として算出
- ※2) 鉄道・バスを40分+徒歩を20分として算出



出典: 日本体育協会スポーツ科学委員会
「日常生活動作によるエネルギー消費量」より算出

クルマの「維持費」

クルマにかかる費用は、購入代金だけではなくありません。燃料代、保険料、税金、駐車場代などの維持費を合わせると、1日あたり2,000円程度(*1)かかる場合もあります。

(*1: 2,000ccのクルマを7年間使用し、毎月ガソリン代に10,000円、駐車場代に4,000円かかるとした場合で計算しています)

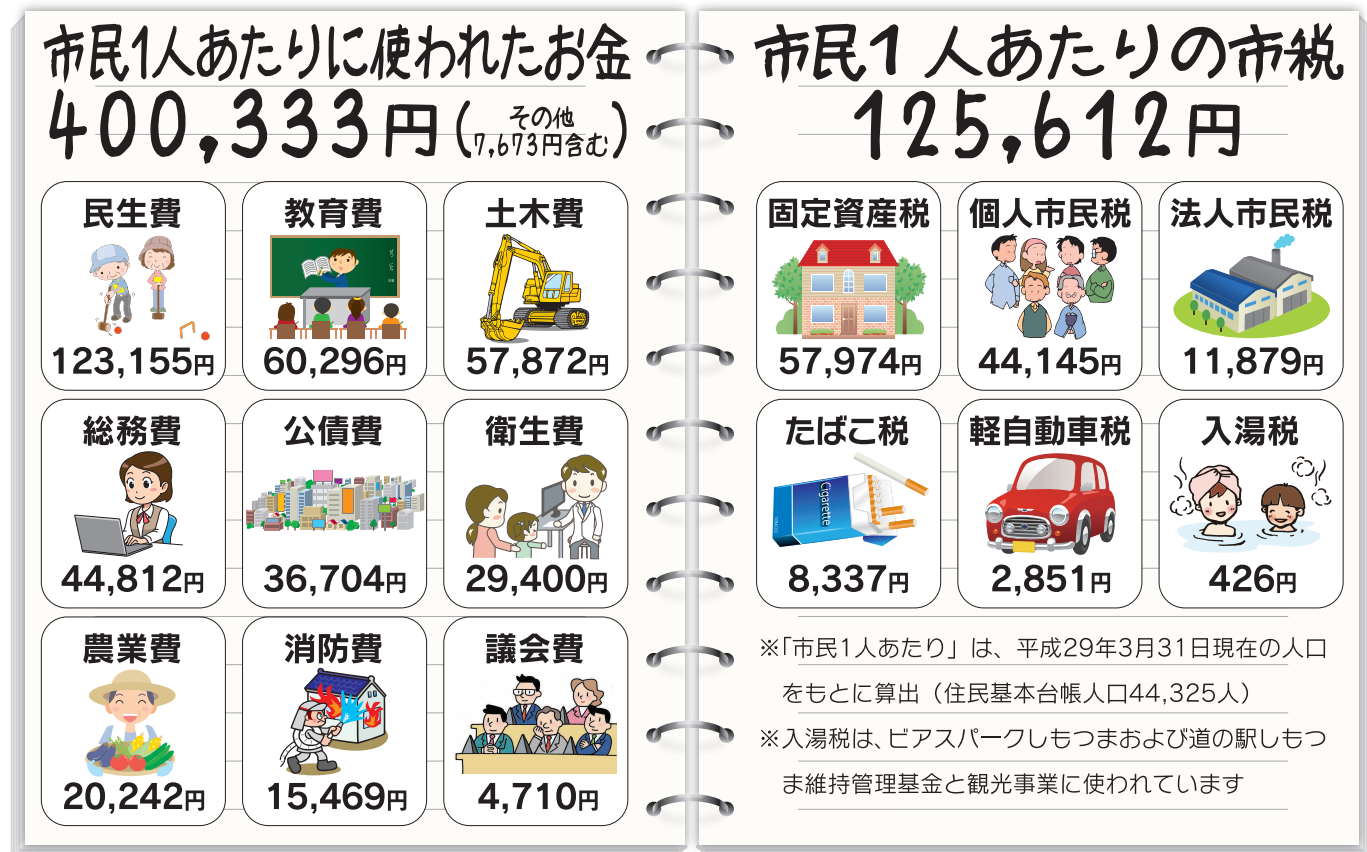
バス利用でいつもと違う「楽しみ」

例えばピアスパークしもつまの温泉に行くとき、バスを利用した場合なら、クルマの運転がないので、地ビールも楽しめます。いつもはできなかったくつろぎのひとときを過ごしませんか。



公共交通を活用した暮らし、
いっしょに考えてみませんか？

しかし、クルマの移動には、環境問題や渋滞、交通事故といった困ったことも少なくありません。クルマと私たちの生活について、ちょっと立ち止まって考えてみませんか？



平成28年度決算 財政健全化指標等の公表

財政の健全性を判断するための4つの「健全化判断比率」と公営企業会計の「資金不足比率」を公表します。いずれの比率も国が定めた基準を下回り、前年度数値よりも改善した結果となりました。今後も行政改革などに取り組み、引き続き健全な財政運営を進めていきます。

①実質赤字比率 = 黒字

福祉・土木・教育などを行う一般会計の赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を表す比率で、算定の結果、黒字となり「－」と表示しています。

②連結実質赤字比率 = 黒字

特別会計や企業会計を含む全ての会計の赤字や黒字を合算して市全体としての赤字の程度を指標化し、市の財政運営の深刻度を表す比率で、算定の結果、黒字となり「－」と表示しています。

③実質公債費比率 = 8.3%

市の借入金の返済額およびこれに準ずる額の大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示す指標で、前年度から1.3ポイント改善しています。これは、市の借入金返済額は増えましたが、一部事務組合の公債費に対する負担金が減少したことなどによるものです。

④将来負担比率 = 71.7%

市の借入金や将来支払わなければならない負担などの現時点での残高の程度を指標化し、将来財政を圧迫する可能性を示す指標で、前年度から3.9ポイント改善しています。これは、市の借入金残高は増えましたが、退職手当負担見込額が減少したことなどによるものです。

⑤資金不足比率 = 資金不足なし

公営企業ごとの資金不足額が、事業規模に対してどの程度あるか表す比率で、いずれの公営企業会計も資金不足が生じていないため、算定されません。

健全化判断比率

指 標	(単位：％)			
	平成28年度	平成27年度	早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率	－	－	13.30	20.00
②連結実質赤字比率	－	－	18.30	30.00
③実質公債費比率	8.3	9.6	25.0	35.0
④将来負担比率	71.7	75.6	350.0	

※「実質赤字比率」「連結赤字比率」については、赤字額がないため「－」と表示しています。

早期健全化基準…健全化判断比率のいずれかが「早期健全化基準」の数値を上回ると、財政健全化計画を策定し自主的な改善努力による財政健全化に取り組むことになります。

財政再生基準…健全化判断比率(将来負担比率を除く)のいずれかが「財政再生基準」の数値を上回ると、財政再生計画を策定し国などの関与による確実な再生に取り組むことになります。

⑤資金不足比率

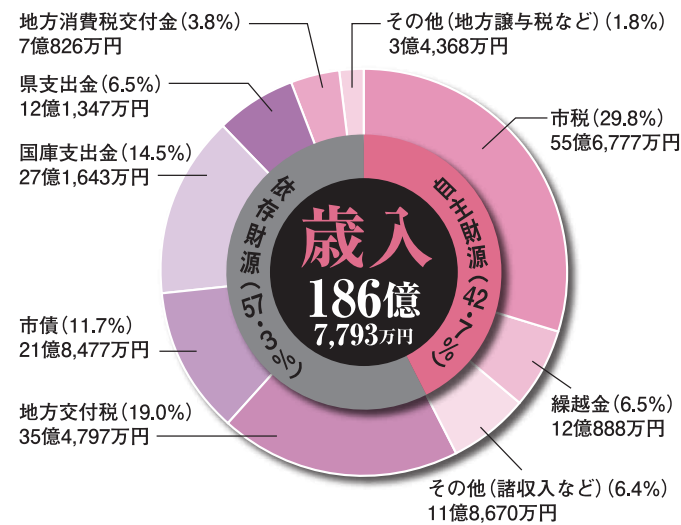
会 計 名	(単位：％)		
	平成28年度	平成27年度	経営健全化基準
水道事業会計	－	－	20.0
下水道事業特別会計	－	－	20.0

※各公営企業においては、資金不足が生じていないため「－」と表示しています

経営健全化基準…経営健全化基準を上回った公営企業は、経営健全化計画を策定し財政健全化に取り組むことになります。

一般会計決算状況

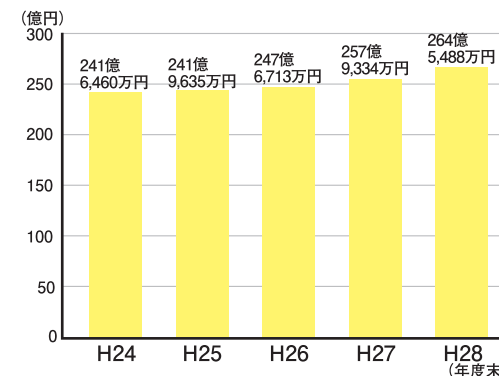
一般会計	決算額
歳入総額 ①	186億7,793万円
歳出総額 ②	177億4,476万円
歳入歳出差引額 ①－②＝③	9億3,317万円
翌年度へ繰越すべき財源 ④	1億 478万円
実質収支額 ③－④	8億2,839万円



財政状況の推移

項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度
経常収支比率	89.9%	87.7%	92.0%
財政力指数	0.643	0.656	0.665
基金の年度末残高	41億 3,386万円	42億 8,834万円	44億 3,570万円

市債残高の推移 (一般会計＋特別会計)

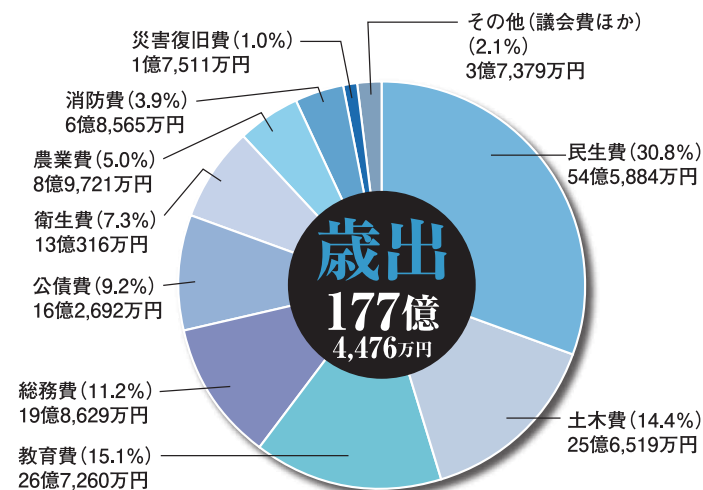


28年度給水状況

給水世帯	14,818世帯
給水人口	40,001人
年間給水量	3,521,060m³
1日平均給水量	9,647m³

平成28年度の決算が9月の第3回市議会定例会で認定されました。一般会計の歳入総額は、186億7,793万円(前年度比0.7%増)で、歳出総額は177億4,476万円(前年度比2.3%増)となりました。皆さんから納められた税金や国・県からの交付金・補助金などがこのように使われたのかをお知らせします。

平成28年度 決算報告



特別会計決算状況

会計区分	歳入決算額	歳出決算額	差引残高
国民健康保険	67億2,051万円	61億9,234万円	5億2,817万円
後期高齢者医療	3億6,548万円	3億6,133万円	415万円
介護保険	33億4,333万円	32億 12万円	1億4,321万円
介護サービス事業	1,238万円	689万円	549万円
下水道事業	9億5,445万円	9億3,069万円	2,376万円
砂沼サンビーチ	1億8,732万円	1億6,705万円	2,027万円

水道事業会計決算状況

区分		決算額
収益的収支	収入	10億 606万円
	支出	10億 367万円
資本的収支	収入	1億 121万円
	支出	4億3,317万円

※資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額3億3,196万円は、損益勘定留保金・消費税および地方消費税資本的収支調整額で補てんしました

あわら市交流事業 問 指導課 ☎44-0746 FAX43-9608

互いの良さを学ぶ、あわら市と教育交流

8月23～25日の3日間、市内3中学校生徒会本部役員や教職員などの組織された訪問団41名が、平成27年11月姉妹都市を提携した福井県あわら市との教育交流事業を行いました。目的は教育交流を通じて互いの市の良さを学び、教育水準の維持向上に役立てることです。

訪問団は、生徒と教職員に分かれて、市内見学、自然体験や交流研修会を行いました。生徒の交流研修会では、市や学校の紹介を行った他、研修会場の「芦原青年の家」と千代川中をインターネット回線でつなぎ、生中継による会議を行いました。

今回の訪問の成果は、12月3日の下妻市教育振興大会で発表される予定です。また、今後の交流計画では、あわら市との下妻市が隔年でお互いの市を訪問することになっており、来年度はあわら市の訪問団が来訪する予定になっております。



教育交流をした両市の生徒と教職員（芦原青年の家で）

浦安市交流事業 問 消防交通課 ☎43-2119 FAX43-4214

深まる友好交流、「浦安市防災訓練」で下妻市をPR

9月24日、「浦安市防災訓練」が浦安市総合公園で行われ、自衛隊や浦安市民など約2万人が参加する中、下妻市からも昨年に引き続き参加・出展し、両市の友好交流を行ってきました。

会場では、災害時の安全行動を確認するシェイクアウト訓練、災害救助犬と消防署・消防団による倒壊家屋からの被災者救出訓練や生物剤と化学剤に起因する災害を想定したBC災害対応訓練などが行われました。展示エリアに出展した下妻市のPRブースでは、新鮮な千石きゅうり、なす、栗などを販売し下妻市のPRを行いました。アールスメロンを買った70代男性は「毎年、下妻のメロンを楽しみにしている。値段も手頃でおいしい」と話してくれました。相互交流により浦安市民に下妻市が認知され、身近な存在となっています。



PRブースを訪れる浦安市民（浦安市総合公園）

有料広告欄

鬼怒川緊急対策プロジェクト 問 建設課 ☎45-8125 FAX43-2945

前河原築堤工事の第2期工事見学会開催 石井国土交通大臣が現地を視察

■前河原築堤工事見学会

9月9日、「関東・東北豪雨」で大規模な溢水が発生した前河原地区で国土交通省関東地方整備局下館河川事務所が主催する築堤工事の第2期工事見学会が、前河原地先の鬼怒川左岸で開かれ、地域住民や行政関係者など約40人が参加しました。

見学会では、工事概要の説明を受けた参加者が堤防への芝張りや高所作業車に乗って上空から堤防の工事状況や鬼怒川を眺める体験をしていました。



芝張り体験をする参加者



堤防を歩きながら工事の説明を受ける参加者

■石井国土交通大臣が視察

9月10日、石井国土交通大臣は前河原地区の築堤工事現場や「関東・東北豪雨」で大きな被害を受けた常総市を訪れ、鬼怒川の堤防のかさ上げ工事の現場などを視察し、「一日も早い完成を目指して最大限努力していく」と述べ、整備を急ぐ考えを示しました。

また、大臣は稲葉市長や常総市の神達市長と会談し、被災地の復興や地域の活性化につなげるべく、鬼怒川の堤防にサイクリングロードを整備する事業の実現に向けて意見を交わしました。



前河原地区で石井大臣（左）に被害状況を説明する稲葉市長（中）と須藤議長（右）

産業振興・海外輸出 問 農政課 ☎44-0729 FAX43-3239

下妻の梨ベトナムへ 輸出本格化で市長がトップセールス



梨のPRする稲葉市長（イオンホーチミンで）

ベトナムへの梨の輸出は、平成29年1月のベトナムでの日本産ナシの輸入解禁を受け、全国に先駆け、生産者とJA常総ひかり、県、市が連携し、登録申請や商談などを行ったことにより、初年度で100トンもの輸出量を確保することができ、輸出本格化となりました。

この契機に下妻の梨のブランド化を進めようと、9月23日、イオンホーチミンにおいて、稲葉市長は、関係者と共に記念セレモニーや試食販売プロモーションに参加してトップセールスを行いました。

稲葉市長は9月22～24日の3日間、ベトナムのホーチミンへ渡り、現地流通業者や販売店舗などを訪問し、下妻の梨の魅力をアピールしました。経済成長著しいベトナムで下妻の梨は、国内の取引価格より2割以上高く、今後は300トンまで輸出拡大を目指します。



フォトレポート

2017 秋の大運動会

9月9日に各中学校で、9月30日には7校の小学校(大宝・大形小学校は5月27日開催)で運動会が開催されました。元氣いっぱいの子どもたちの姿に、会場からは惜しみない拍手や声援が送られていました。

平成28年度 株式会社ふれあい下妻の 経営状況をお知らせします

株式会社ふれあい下妻の平成28年4月1日から平成29年3月31日までの経営状況(第19期)を公表します。

平成27年度は道の駅のリニューアル工事とピアスパークの水害による長期休業があったことから、平成28年度を復興元年と位置付けし、両施設とも従業員一丸となり業務にあたりました。その結果、売上高は道の駅がリニューアル効果により前期実績を大きく上回り、ピアスパークも水害前の状況にほぼ回復し、全体として前期比30.1%増の約8億8,456万円となりました。

ピアスパークしもつまの指定管理料として下妻市から6,000万円が支払われました。



道の駅しもつま

農産物直売所を本館の中心に配置したことにより、お食事処しもん亭、ベーカリーしもんぱん、物産コンビニコーナーにおいて、売上および来店者とも一体的に増加したことから、業況は順調に推移しました。売上高は、前期比20.2%増の約6億3,844万円となりました。

道の駅利用者数は、前期比39.5%増の76万676人となりました。

ピアスパークしもつま

経営的に厳しい状況にあった農園の休業および飲食部門の効率化を図ったほか、温泉情報誌への掲載や圏央道開通に伴うパーキングエリアへのパンフレットの設置など、施設のPRに努めました。売上高は、前期比65.2%増の約2億4,612万円となりました。

温泉入場者数は、前期比68.4%増の15万5,111人となりました。

入湯税を市に納付

株式会社ふれあい下妻から、入湯税1,888万円が市に納付されました。

経営状況の推移

項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前期比較
売上高	7億8,899万円	6億8,003万円	8億8,456万円	2億 453万円
道の駅	5億 959万円	5億3,106万円	6億3,844万円	1億 739万円
ピアスパーク	2億7,941万円	1億4,897万円	2億4,612万円	9,715万円
税引前当期利益	1,000万円	8,743万円	4,308万円	△4,435万円
道の駅利用者	62万2,863人	54万5,386人	76万 676人	21万5,290人
温泉入場者	16万2,093人	9万2,108人	15万5,111人	6万3,003人

有料広告欄



五行の舞を奉納する4人の園児

関東最古の八幡さまとして知られている大宝八幡宮で秋の豊作に感謝する秋の大祭が開かれ、神楽殿で十二座神楽が奉納されました。巫女装束に身を包んだ大宝保育園の女児4人が、太鼓、小太鼓、笛の音に合わせて厳かに舞いました。

十二座神楽は市指定無形文化財で、起源は明らかではないが、室町時代の境内図に神楽殿が記載されていることから、古い歴史がうかがわれます。

日立市から訪れた60代男性は「下妻市の文化に初めて触れました。巫女装束が色鮮やかで伝統と格式を感じる」と話し、舞を楽しんでいました。



長寿の秘訣を話す飯田さん

敬老の日になみ、稲葉市長は9月15・19日の両日、平成29年度中に100歳以上になる市内長寿者宅や介護施設を訪問し、長寿を祝福しました。

市内で100歳以上になる方は、8月1日現在で39人。稲葉市長は、お祝いの言葉とともに祝い状や記念品の毛布を手渡しました。

市内最高年齢の飯田さん(原・107歳)は自らネクタイを締め、スーツに着替え笑顔で「毎日食事もしっかりとって、自分のことは自分でしています。ぜひ東京オリンピックを見に行きたいと思っています」と話してくれました。それに対して市長は「オリンピックを見て県内最高年齢になることを期待しています」と話しました。

地域で伝える 伝統の舞

大宝八幡宮・十二座神楽奉納 9月15日

火の粉を浴びると火の災いを免れるといわれる炎の奇祭「タバンカ祭」が9月12日と14日の両日、大宝八幡宮で行われました。

この祭は、約640年前に敷地内で起きた火災を暁と鍋蓋で消し止めたという故事を戯曲化した祭として受け継がれています。

白装束姿の若者がたいまつを振り回しながら境内を駆け回ると参拝者からは歓声があがりました。14日には、テレビの取材班も訪れ境内は一層盛り上がりました。

つくば市から訪れた60代男性は「インターネットの映像よりも、本物は火の粉が舞い、炎の熱さを感じられ、迫力がある。まさに奇祭だ」と話し、祭の風景をカメラに収めていました。



火の粉が舞い歓声上がる会場

火の粉舞う炎の奇祭

大宝八幡宮・タバンカ祭 9月12・14日

下妻市自然愛護協会が主催する「秋の山野草展」が、小貝川ふれあい公園ネイチャーセンターで開催されました。

白い花をつけるアケボノソウや濃紫色の花を複数つけたサワギキョウなど秋を彩る山野草の鉢植え約300種類400鉢が来場者の心を和ませました。

春の山野草展にも来場したという、つくば市の60代女性は「ツルコケモモがきれいな実をつけてかわいらしい。秋の展示も珍しい種類があって楽しめる」とずらりと並ぶ鉢植えを鑑賞していました。



秋の山野草を楽しむ来場者

山野草 凝縮された自然の美しさ

秋の山野草展 9月23日～25日



下妻産の新米を試食する来場者

口に広がる炊きたての新米の香り

下妻産新米まつり 9月23・24日

収穫の秋を迎え、「下妻産こしひかり」のPRと「地域ブランド米の確立」を目指して、収穫したばかりの下妻産新米を味わってもらおうと市内大園木の「やすらぎの里しもつま」で9月23・24日の両日、「下妻産新米まつり」が開催されました。

会場では、「コシヒカリ」と「ミルキークイーン」の炊きたてがそれぞれ試食で提供され、食べ比べた新米が、その場で1キロ単位の希望量で買えるとあって「つきたて販売」が人気を集めていました。同会場ではローズポークの試食も行われ、市内外から訪れた多数の家族連れなどでにぎわいました。

千葉県野田市から夫婦で訪れた60代の男性は「下妻産のお米は香りがよく、おいしい。ローズポークとの相性がバッチリ」と話してくれました。



力強い投球をみせるシモンちゃん(9月2日、牛久運動公園野球場)

プロ野球2017イースタンリーグ公式戦・茨城シリーズが9月2日に牛久市、3日に土浦市で初開催。北海道日本ハムファイターズと千葉ロッテマリーンズが対戦しました。

試合前の地域交流イベント「7自治体職員スピードガンコンテスト」では、参加自治体のマスコットや選手が並ぶ中、下妻市からはイメージキャラクターのシモンちゃんが直接投球。記録は時速61キロと会場の笑いを誘いながらも、10月21日・22日に砂沼サンビーチで開催される「しもつま砂沼フェスティバル」をしっかりとPRしました。

市では、筑波大学や北海道日本ハムファイターズ、県南西地域の自治体、団体と共に産学官民公連携によるスポーツを通じたエリアマネジメントプロジェクトを進めています。両日の試合には、市内野球少年団の子どもたちなど500人が招待され、高道祖ヤングタイガースの樽逸心さん(小学6年)は「プロ野球の選手は体が大きくて、球がとても速かった。また見たい」と笑顔でした。今後は、Waiwaiドームしもつままでのスポーツ教室や食育などのイベントも企画される予定です。

スピードガンコンテストで下妻市をPR

プロ野球2017イースタンリーグ公式戦茨城シリーズ 9月2・3日



事故に遭わない、起こさない！

秋の全国交通安全運動街頭キャンペーン 9月21日

9月21日、午前7時30分から市内本宿交差点と宗道十字路の2カ所で、交通安全運動の街頭キャンペーンが行われました。

この街頭キャンペーンは、9月21～30日の10日間、秋の全国交通安全運動が実施されることに先立ち行われたもので、下妻警察署の協力のもと、市内交通団体などの関係者約120名と下妻一高野球部員26名が通勤するドライバーに交通安全グッズを手渡ししながら、交通安全を呼び掛けました。

下妻一高2年生で野球部主将を務める秋葉涼太さんからは「僕たちは明るい未来をつくるために、交通ルールを守り交通安全に努めることを誓います」と力強い決意表明がありました。



交通安全を通勤ドライバーに呼び掛けました

市民の憩いの場となっている小貝川ふれあい公園のスポーツゾーン周辺で、下妻市スポーツ少年団の奉仕活動が行われました。早朝から同団員など約350人が集まり、スポーツゾーンや土手沿いのごみなどを拾い集めました。

スポーツ少年団は、スポーツを楽しみ、社会活動などを通じて協調性や創造性を養い、社会のルールや思いやりのこころを学ぶとともに、地域社会の活性化に貢献する活動をしています。

同団で本部長を務める柴崎清一さんからは「子どもたちの健全育成を願い、地域に貢献しようと毎年、多くの団員が奉仕活動をしている。団員や保護者などの交流の良い機会となっているので、今後も続けたい」と話が聞けました。



ソフトボール場のごみを拾うスポーツ少年団

市民の憩いの場をきれいに

下妻市スポーツ少年団「奉仕活動」 9月10日

有料広告欄

わがやのにんきもの

このコーナーでは、市内在住の1〜3歳までのお子さんの写真に、お父さん・お母さんのコメントをつけて紹介しています。誕生日など、思い出の1ページとしていかがですか？ご希望の方は、【秘書課・広報広聴係 ☎43-2112】までご連絡ください。



けいご
岡崎 圭吾ちゃん

駿・智子さんの長男 長塚

いつもニコニコで人懐っこい圭吾も9月で2歳になりました。言葉も増えてみんなとお話しできるのが楽しいね。

アンパンマンが大好きで、歌やダンスはお手の物！人形はどこに行く時も一緒だね！これからもアンパンマンのようにみんなを笑顔にさせてね！



あきと
落合 諒人ちゃん

晃工・明子さんの長男 下妻乙

乗り物大好き！恐竜も大好き！音楽に敏感で、ノリノリでリズムを刻み楽しんだり、将来はリレー選手？！と思わせるほどの俊足な男の子。

そのやんちゃぶりに周りは一瞬で幸せに♡どうぞこれからもわが家にハッピーな風を送り続けてね！



あらた
大塚 新太ちゃん

孝行・美沙さんの長男 北大宝

2歳になりました。よく食べ、よく遊び、よく話す元気な新太です。重機が大好きで、遠くに見える重機をあっという間に見つけます。最近、トミカの重機集めもブーム！

来年はお兄ちゃんになるけれど、新太らしく、新太の笑顔でみんなを幸せにしてね！みんな新太が大大好きだよ！

わたしからあなたへ

さわやかリレー vol.141

前回登場の中村佑美子さんからの紹介



杉田 亜樹さん(下妻戊)

「楽しむ」

私は、男の子3人の母親をしています。朝から晩までずっと怒っている毎日を過ごしています。「さわやかリレー」のお話を頂いて、今までの自分を振り返ると「あつという間だったなあ」「大変だったし、余裕もなかったなあ」と思いました。でも、今になると、もっと一瞬一瞬を大切にしておけば良かったと思います。

現在、一番下の子が3歳になり、私自身にもだいぶ余裕ができて、自分の時間をつくることができるようになりました。子育てに対しての楽しみ方も分かってきました。

有料広告欄

みんなのギャラリー

高道祖幼稚園

「ハロウィン幼稚園へようこそ」



▲さくら組の皆さん



一年に一度、子どもたちが楽しみにしている秋のイベント「ハロウィン」をテーマに、魔法使いになった自分自身を作りました。

自分の髪型、洋服の模様を工夫したり、それぞれ個性豊かな作品になりました。

当日は仮装してハロウィンパーティー。今からワクワクドキドキ。待ち遠しい子どもたちです。

市民文芸

俳句

馬追の追ひかけ闇を濃くしたり
星ひとつ命燃やして流れけり
円かなる月に誓ひし御婚約

鯨井 幸(半谷)
安原百合子(鯨)
鈴木 素香(下妻丁)

短歌

すこやかに整骨院を営みて
急死せる子の白衣抱きしむ
黄ばみ来し稲穂は風にゆらゆらと
うねりてたかし秋空のもと
紙魚食いの本を手に取り再読を
するの眼鏡捜しいる夫

徳田 絹子(下妻乙)
伊東 豊乃(加養)
浅野 悦子(鎌庭)

口頭詩

子どもの純粋な心のつぶやき



あわの えいた
1歳8カ月時点
(大宝保育園)

おふろ
えだよー
あーい えだよー
えだよー
キヤハハハ

【解説】
お風呂から出た時の様子です。まだ言葉がはつきりしない時期ですが、瑛太は、お風呂から出たことを伝えようとしてくれました。
毎日の積み重ねで、言葉は未熟でも頭で理解してきているんだなあと、成長していることを実感し、日々の正しい習慣付けは、大事な親の役割だと再認識しました。
採集 母 栗野みどり

有料広告欄

